

三方五湖学習

瓜生っ子学習発表会

若狭町立瓜生小学校では、今年度、4年生と5年生がそれぞれ、学校田や学校近くの田んぼ、水路の生きもの調査などの環境学習に取り組みました。

2月23日（日）に開催した“瓜生っ子学習発表会”では、4年生は「瓜生キラッキラせんたいエコレンジャー」と題して、5年生は「目指せ！田んぼ博士」と題して、環境学習の成果を発表しました。身近にある“生きものつながり”について発見したことの驚きや、生きもの育む場所として田んぼが大切であると考えたことなどを児童たちの言葉で、保護者や地元の方に伝えました。



4年生の発表



5年生の発表

自然再生関連会議等開催情報

- ◆自然護岸再生部会
 - ・平成26年3月10日…視察
- ◆湖と田んぼのつながり再生部会
 - ・平成26年3月9日…部会会議
- ◆外来生物等対策部会
 - ・平成26年3月9日…部会会議
- ◆環境に優しい農法部会
 - ・平成26年2月26日…研修会、部会会議
- ◆環境教育部会
 - ・平成26年3月9日…部会会議
- ◆シジミのなぎさ部会
 - ・平成26年2月26日…部会会議

三方五湖の自然とめぐみTOPIX

コハクチョウの飛来

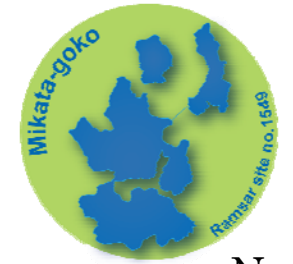


この冬、三方五湖には、54羽のコハクチョウが飛来しました。冬期湛水田（とうきたんすいでん）の拡大とともに、コハクチョウの飛来数は

増えています。

コハクチョウは、昼間は田んぼで二番穂や草の種などを食べて過ごし、夜は三方湖や菅湖を寝ぐらとして過ごしています。

三方五湖 ニュースレター



No. 03

平成26年3月10日発行



田んぼで落穂を食べるコハクチョウ

目次

田んぼで魚を増やす取組 1

シジミのなぎさにおける鳥類調査 2

三方五湖学習、自然再生関連会議開催状況、三方五湖の自然とめぐみTOPIX、三方五湖のなかまたち 3

三方五湖のなかまたち

アカガエルの仲間（アカガエル科）



ヤマアカガエル
・体長4.0～8.0cm



ニホンアカガエル
・体長3.5～7.5cm

*ヤマアカガエル、ニホンアカガエルともに、早春に田んぼや池など浅い水辺に卵を産みます。

問合せ先

- 福井県安全環境部自然環境課
〒910-8580 福井県福井市大手三丁目17番1号
TEL 0776-20-0305
- 美浜町住民環境課
〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市25-25
TEL 0770-32-6703
- 若狭町環境安全課
〔三方庁舎〕
〒919-1333 福井県三方上中郡若狭町中央第1号1番地
TEL 0770-45-9126
- 若狭町歴史文化課縄文環境室
〔若狭三方縄文博物館内〕
〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1
TEL 0770-45-2270

このニュースレターは「平成25年度生物多様性保全推進交付金（環境省）」を使用しています。

田んぼで魚を増やす取組

かつてから、三方五湖周辺の田んぼでは、フナやコイ、ナマズなどが田んぼに遡上し、産卵していました。

しかし、近年では、田んぼー水路の高さに大きな差ができるなど、フナやコイなどが田んぼに遡上できない状況があります。

そこで、三方五湖周辺の田んぼでは、フナ、コイの生態をふまえた方法によるフナ、コイを増やす取組が進められています。

シュロ採卵によるフナ・コイの稚魚育成

湖の周辺にある水路等にシュロ（ブラシのようなもの）を設置し、フナやコイの卵を採集します。卵が付着したシュロを田んぼに入れ、田んぼでフナやコイの稚魚を育てます。



卵が産みつけられたシュロ



フナの卵



田んぼに入れたシュロ



田んぼを泳ぐフナの稚魚



田んぼでふ化した稚魚

(写真:美しい鳥浜を創る会)

フナ、コイの卵を入れる田んぼ募集中!

フナ、コイが卵を産みつけたシュロを入れる田んぼを探しています! 詳しくは、若狭町環境安全課までお問合せ下さい。

田んぼは生きもののゆりかご

- ・水温が高く、エサとなるプランクトンが豊富
- ・水の流れがなく、外敵となる生きものが少ないため泳ぐ力の弱い稚魚が育ちやすい

水田魚道(すいでんぎょう)

水田魚道とは、魚が田んぼへ自由に出入りできるように、田んぼと水路との間に設けた階段のようなものです。水田魚道の設置により、魚が昔のように田んぼに入って産卵できるようになり、特にドジョウやフナなどは、稚魚が多く生育することが確認されています。



水田魚道(若狭町鳥浜)
(写真:美しい鳥浜を創る会)

水田を利用するおもな魚

ドジョウ	ヌマチチブ
ゴラクハゼ	フナ
ホトケドジョウ(絶滅危惧種)	ウキゴリ
メダカ(絶滅危惧種)	モツゴ
タモロコ	ナマズ

(写真:福井県海浜自然センター)

シジミのなぎさにおける鳥類調査

三方五湖は、県内最大の水鳥の生息場所となっています。久々子湖とその周辺里地では、特に、汽水域に生息する水鳥をはじめとし、樹林地や農地には陸鳥が観察されるなど多様な種類の野鳥が確認できる場所となっています。

そこで、去る2月15日(土)、水鳥をはじめとする久々子湖に飛来している鳥類について、市民参加型の調査を実施しました。

【調査概要】

日時: 2月15日(土) 8:30~12:00
 場所: 美浜町久々子湖周辺
 講師: 小嶋明男氏、平城常雄氏、武田真澄美氏
 (日本野鳥の会福井県)
 参加者数: 21名



市民による調査風景



カルガモ

今回の調査では、7目11科24種の鳥類を確認しました。カルガモなどのカモのなかまを多数確認しています。ホシハジロ、キンクロハジロなどは、シジミなどの貝類もエサにしており、カモ類の飛来状況の調査は、久々子湖全体の生態系(生きものつながり)の把握、シジミの増加状況の把握につながると考えられます。

【確認した鳥類】

NO	科	種
1	カイツブリ	カンムリカイツブリ
2	ウ	カワウ
3	ガンカモ	マガモ
4		カルガモ
5		コガモ
6		ヨシガモ
7		オカヨシガモ
8		ヒドリガモ
9		オナガガモ
10		ホシハジロ
11		ホオジロガモ
12		キンクロハジロ
13		スズガモ
14	サギ	アオサギ
15		オオバン
16	シギ	イソシギ
17	カモメ	オオセグロカモメ
18		セグロカモメ
19		ウミネコ
20	ワシタカ	トビ
21	セキレイ	セグロセキレイ
22	ヒヨドリ	イソヒヨドリ
23	ハタオリドリ	スズメ
24	カラス	ハシボソガラス



カルガモ



キンクロハジロ



ホシハジロ

(写真:高橋繁応)